

「障害者週間」 記念のつどい

12月
3日～9日は
障害者週間
です

障害のある人もない人も共に生きる

～地域で「ささえ、ささえられ」～

とき

平成25年12月8日(日)

開場/9:30 開演/10:00

場所

中区役所ホール

手話通訳・要約筆記・車いす席
の用意があります

〒460-8447

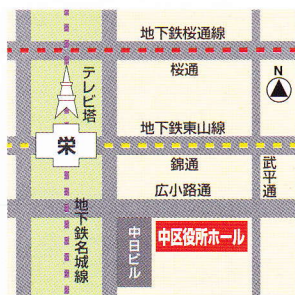
中区栄四丁目1-8

交通

- 市バス/「栄」下車 徒歩約3分
- 地下鉄/東山線・名城線「栄」
12番出口東へ50m 徒歩約3分

定員500名/入場無料
(要事前申込)先着順

申込受付期間 11/11～11/末日迄



映画

「最強のふたり」 シーンボイス・
字幕付き・吹替え

このふたりに世界が惚れた!
2011年仏興収No.1/歴代No.3を皮切りに、
ヨーロッパで空前の大ヒット!
泣いて笑って、生きるパワーをくれる
感動の実話!

フランス国民3人に1人が笑った!泣いた!

東京国際映画祭史上初3冠!



©2011 SPLENDIDO / GAUMONT / TF1 FILMS PRODUCTION / TEN FILMS / CHAOCORP

講演

テーマ「私は仕事も家族も決してあきらめない」

講演者 東レ経営研究所 特別顧問 佐々木 常夫氏

自閉症の長男とうつ病の妻を持つ。
肝臓病をも患う妻は20年の間に43回もの入院。
育児、食事、介護に追いかける状況の中で、
破綻会社の再建やさまざまな事業改革に取り組む。



感動の物語
書籍「ピクチャー」が
反響を呼ぶ。

- 名古屋市あいさつ
- 障害者と市民のつどい実行委員会あいさつ

「障害者週間」記念のつどい

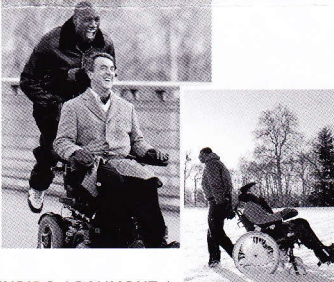
「障害のある人もない人も共に生きる」～地域でささえ、ささえられ～

● 障害者週間とは ●

政府は、昭和56年(1981年)の国際障害者年を記念して、毎年12月9日を「障害者の日」と定め、障害者問題について国民の理解と認識を更に深め、障害者福祉の増進を図るために啓発行事を継続的に実施してきました。

障害者基本法により、国民の間に広く障害者の福祉についての関心と理解を深めるとともに、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に積極的に参加する意欲を高めるため、毎年12月3日から9日が「障害者週間」と定められています。

● プログラム

	10:00～ 式典 ・名古屋市あいさつ ・障害者と市民のつどい実行委員会あいさつ
午前の部 10:30～	映画 バリアフリーシネマ「最強のふたり」 ● シーンボイス、字幕付き、吹替え ストーリー ひとり、スラム街出身で無職の黒人青年ドリス。もうひとはバリの豪邸に住む大富豪フィリップ。何もかも正反対のふたりが、事故で首から下が麻痺したフィリップの介護者選びの面接で出会った。高級スーツとスウェット、文学的な会話と下ネタ…だが偽善を憎み本音で生きる姿は同じ。ユーモアに富んだ最強の友情が生まれていく。 出演：フランソワ・クリュゼ、オマール・シー 他  ©2011 SPLENDIDO / GAUMONT / TF1 FILMS PRODUCTION / TEN FILMS / CHAOCORP
午後の部 13:30～	講演 テーマ：「私は仕事も家族も決してあきらめない」 講演者：東レ経営研究所 特別顧問 佐々木 常夫氏 プロフィール 自閉症の長男とうつ病の妻を持つ。肝臓病をも患う妻は20年の間に43回もの入院。3回の自殺未遂を起こす。育児、食事、介護に追いかける状況の中で、破綻会社の再建や様々な事業改革に取り組む。2001年同期のトップで取締役就任、2003年東レ経営研究所社長。その著書「ビッグツリー」が反響を呼ぶ。2011年ビジネス書最優秀著書賞を受賞。 

もうしこみしよ お申込書

もうしこまないよう 申込内容 きぼう じるし 希望に○印	① 午前 ごぜん の部 ぶ (式典・映画) ・ ② 午後 ごご の部 ぶ (講演) ・ ③ 終 しゅう 日 じつ		
お名前 な ま え	介助者 かいじょしゃ		なし ・ あり めい 名
住 所 じゅう しょ	〒		
連絡先 れん らく さき	携帯電話・電話 けいたいでん だん 電話		FAX
	E-mail		
障害関係 しょうがいかんけい (✓をお付け下さい)	☐ 車椅子(手押・電動) ☐ 手話 ☐ 要約筆記 ☐ 点字 ☐ その他()		

※介助者で付添の方以外は一人1枚ご記入下さい。

※連絡先は緊急時にも連絡可能な番号等をご記入下さい。

※上記内容はこの目的以外には使用いたしません。

受付番号	受付日	担当者
------	-----	-----

お申込み先

F A X : 052-671-3124

名身連事務局

E-mail : jimukyoku@meishinren.or.jp